

川西読み切り健康落語

虚血性腸炎の巻

どーん。いきなりぶつかってきたやつがいる。誰かと思えば熊八の女房のお仙だ。

隠居 おい、お仙。



お仙 あつ、ご隠居様。今朝亭主の熊八が腹痛で入院しちゃって。

隠居 神社の腐ったお供え物を盗み食いたんじやな。

お仙 いえ、このごろ神社には行ってないようです。

隠居 お寺のお供え物を盗み食いたんじやな。

お仙 お寺にも行ってません。隠居 教会はどうじゃ。

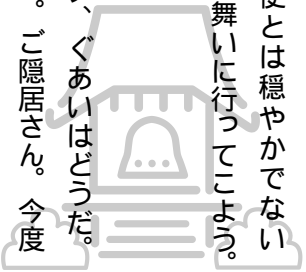
お仙 タベ急におなかを痛がりだして便所へ行っただんです。便が出てすっきりした顔で戻ってきましたが、しばらくすると、また便が出そうだと言った。また便が少し赤い下痢便が出たそうです。またしばらくすると、下痢便が少し出て、今度ははつきり赤かったそうです。それを朝まで3、4回繰り返してました。おなかは、最初が一番痛かったそうですが、下痢が出るたびに、おなかの左側が痛んだそうです。

隠居 血便とは穏やかでないな。どれ見舞いに行つてこよう。

病院にて。

隠居 ハチ、くあいはどうだ。

熊八 あつ、ご隠居さん。今度という今度は、あつしも年貢の納め時のようです。



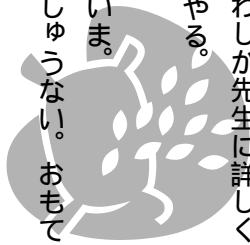
隠居 どうした。神妙な顔をして。

熊八 素人のあつしでも、血便といやあ、大腸癌だつてわかりますよ。でもね、だんな。今のあつしは、吹き抜ける秋の風のように、いつそすがすがしい気分です。あつしがいなくなったあと、生きる希望を失う川西の住人が哀れですが、阪神の優勝も見れたし、思い残すことはありません。「あー楽し、思ひは晴るる身は捨つる、浮世の月にかかる雲なし」熊八作。

隠居 そりゃ、大石内蔵助だ。よかろう、わしが先生に詳しく聞いてきてやる。

隠居 ただいま。

熊八 くるしゅうない。おもてを上げい。



隠居 どうしてほかの患者のようにねまきを着ないで、かみしもを着ているんだ。まあいい。ハチの病名は虚血性腸炎(きよけつせいちようえん)というんだそう。大腸の出口付近で便がつまって、それを出そうと大腸が激しく動く。痛いのはそのせいじゃ。激しく動くためには十分な血液が必要だが、それが足りないの虚血になる。虚血のせいで粘膜がただれる。つまっていた便が出てしまうと血流が改善する。ただれていた粘膜にも血が通って出血が始まる。ある程度血がたまと、それを出そうとして、また大腸が運動する。それで血便が出て、またおなか痛くなる。

熊八 あつしは頭が痛くなる。隠居 わしもおまえには頭が痛いわい。

お仙 私はわかつたわ。要するに、大腸が便を出すために、血の汗を流すほどがんばったつてことですよ。

隠居 お仙はホンに頭がいいのう。血便というと、すぐに大腸癌を思い浮かべるが、一番多いのが痔(ぢ)の出血じゃ。痛みがなくて、便が出た後にトイレが真っ赤になる。次に多いのが虚血性腸炎。なじみのない名前じゃが、実はとても多い。若い人から年寄りまで、ちょっとした便秘で虚血性腸炎になるそうじゃ。大腸癌で真っ赤な血便が出ることは、実はそれほど多くはない。便にちよつと血が混じる程度だそうじゃ。

熊八 ごくろう。では拙者はそろそろ退院いたすでござる。

隠居 待ちなさい。まだしばらく血便と腹痛が続くから、一二日は点滴しながら絶食じゃ。それに癌の心配が全くなかったわけではない。大腸癌による便秘で虚血性腸炎を起こすこともあるらしい。一週間くらいしてから大腸ファイバー検査で調べてみましょう、と先生が言つておつたぞ。

お仙 あんた、ここは大腸ファイバーモラクラしいから、ちゃんと検査を受けてお帰り。

熊八 あら悲し、おなかは痛し、血は流る、検査の日まで退院はなし。とほほほ。

おあとがよろしいようです。

